
(協力配信) 横浜古代史料を読む会 講演会【再度のご案内】

★お知らせ

横浜市歴史博物館を主な活動場所にして、博物館と協力しながら自主学習をすすめている「横浜古代史料を読む会」が主催する講演会のお知らせです。

※7月20日に配信しました238号と同内容ですが、まだ多少の空席がありますので、再度ご案内いたします。

お問合せ先は博物館と異なりますのでご注意ください。

◆内 容

横浜古代史料を読む会 講演会
「天平期の疫瘡パンデミックを探る」

講師：平野卓治氏（日本大学文理学部教授）

奈良時代の天平7年（735）から9年にかけて、赤斑瘡と呼ばれた疫病が流行しました。北部九州から広がりはじめ、都にまで蔓延し、政権の中枢を担っていた右大臣藤原武智麻呂をはじめ房前・宇合・麻呂の四兄弟が相次いで死去します。食べ物の制限などの対処法も出されますが、被害は甚大なものであり、それは仏教に帰依した聖武天皇の大仏造立の発願の一要因ともなります。現在のコロナ禍以上の疫病の実相、対処策を探り、古代国家と疫病との関係を考えます。

◆日 時

8月29日（日） 14:00～15:30（受付開始 13:30）

会 場：横浜市歴史博物館 講堂
（横浜市営地下鉄「センター北駅」出口1より徒歩5分）

定 員：90 名（定員になり次第締切）

参加費（資料代）：500 円

申込方法：電子メールにて （1）氏名 （2）電話番号 を
明記の上、a-osada0918@tmtv.ne.jp までお申し込み下さい。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更する場合があります。

◆お問合せ_____

TEL 045-594-0187 横浜古代史料を読む会（長田）

◆発行_____

横浜市歴史博物館／横浜開港資料館／横浜都市発展記念館／横浜ユーラシア文化館／埋蔵文化財センター／横浜市三殿台考古館／横浜市八聖殿郷土資料館／横浜市史資料室

* 当メールの送信アドレスは送信専用ですので、返信なさないようにお願いいたします。

* 催しに関するお問い合わせは各施設まで。

* 本メールにお心当たりがない場合には、第三者による誤登録、不正登録等の可能性があります。

お手数ですが、下記お問い合わせまでご連絡頂けますようお願い申し上げます。

* メール配信についてのお問い合わせは横浜市ふるさと歴史財団（TEL045-912-7771）まで。

* 配信停止はこちらから

→ http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/taisyou/about_museum/mailmagazine/magazine_stop/